

令和五年度 一般入学試験問題「国語」

【試験上の注意: 答えはすべて解答用紙に記入すること】

◎次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

刑罰の重点を「懲らしめ」から「更生」に移す刑事政策の転換である。再犯防止につながるため、運用体制の整備が急務だ。

刑務所に収容する「懲役」と「禁錮」を一本化して「拘禁刑」を創設する改正刑法が成立した。2025年6月までに施行される。1907年の刑法制定①以来、初めて刑の種類が変更される。

A懲役と禁錮の違いは、木工や印刷などの刑務作業が義務づけられるか否かだ。禁錮の受刑者は少ない上、大半が希望して作業をしており、B区別の意味は薄れていた。

重要なのは、拘禁刑についての条文に「改善更生を②図る」との目的が明記されたことだ。

刑務所では、性犯罪や薬物依存などに関し、再犯防止プログラムを導入している。ただ、作業の合間に実施することになるため、十分な時間が確保できなかった。

受刑者の高齢化で、通常の作業ができないケースも増えている。

今回、③いちりつに作業を課すのではなく、再犯防止に向けた指導を行えると条文に明記した。受刑者の犯した罪や個々の事情に応じ、C柔軟な対応が可能になる。

関連法の改正で、受刑者が被害者の心情や状況と向き合えるように④配慮する規定も盛り込まれた。刑務所側が被害者の思いを受刑者に伝えることもできる。

具体的な取り組みを進められるよう、改正法施行までに刑務所の体制充実が欠かせない。

全国で4万人近くいる受刑者ごとに、きめ細かく対応するには、見合った職員数が必要だ。

プログラムを作る際には、専門的な知識が求められる。外部の有識者らと連携し、職員の研修も実施しなければならない。

社会⑤ふつきを⑥見据え、職業訓練の拡充もD不可欠である。デジタル社会で求められる技術など、時代に合わせたものを導入すべきだ。

出所後の⑦しえんも重要になる。国の機関が自治体や⑧ちいきと協力し、住まいや就職先の確保につながる仕組みを整える必要がある。

昨年に刑務所に入った受刑者のうち、過去にも収容された経験のある人は6割近くに⑨上る。

⑩あらたな犯罪被害者を生まないため、再犯防止の取り組み強化が必須だ。法改正を実効性のあるものにしなければならない。

令和五年度 一般入学試験問題「国語」

【試験上の注意答えはすべて解答用紙に記入すること】

問一 傍線部①～⑩について、漢字は平仮名に、平仮名は漢字と送り仮名に直して書きなさい。

問二 波線部 a～f の「れる」について、他と意味の異なるものをひとつ選び、記号で答えなさい。

問三 傍線部 A に「懲役と禁錮の違い」とある。これについて正しいものをひとつ選び、記号で答えなさい。

- ア 懲役には刑務作業が義務付けられ、希望者は全員作業をしている。
- イ 禁錮には刑務作業が義務付けられ、希望者は全員作業をしている。
- ウ 懲役では刑務作業をしなくてもよいが、多くは作業をしている。
- エ 禁錮では刑務作業をしなくてもよいが、多くは作業をしている。

問四 傍線部 B に「区別の意味は薄れていた」とある。その理由について正しいものをひとつ選び、記号で答えなさい。

- ア 懲役と禁錮を一本化して拘禁刑を創設するため。
- イ 木工や印刷などの刑務作業では、改善更生という目的を達成し難いため。
- ウ 全受刑者のうち、刑務作業をしない人が少ないため。
- エ 懲役と禁錮を区別して対応するのに見合った職員数がないため。

問五 傍線部 C に「柔軟な対応が可能になる」とある。「柔軟な対応」の内容として、どのようなものが考えられるか。本文中に挙げられる事例を用いて説明しなさい。

問六 傍線部 D に「不可欠」とある。これと反対の意味の言葉を次の中からひとつ選び、記号で答えなさい。

- ア 不足
- イ 不要
- ウ 不利
- エ 必要

問七 拘禁刑について正しいものを次の中からひとつ選び、記号で答えなさい。

- ア 懲役刑、禁錮刑に加えて導入された、新たな刑罰である。
- イ デジタル社会で求められる技術など、時代に合わせた職業訓練が導入される。
- ウ 原則として刑務作業を行わず、再犯防止に向けた指導を行う。
- エ 受刑者の更生を重点においた刑罰である。